



住宅用火災警報器を 設置している方へ

住宅用火災警報器は、あなたの命と家族を守る大切な機器です。目頃からお手入れや点検をして、もしものために備えると同時に、万が一警報が鳴った時の正しい対処方法を知っておきましょう！



住宅用火災警報器のお手入れ方法

警報器にホコリが付くと火災を感知しにくくなります。汚れが目立ってきたら、乾いた布でふき取りましょう。

特に、台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れが付くことがあります。中性洗剤を浸して固く絞った布で軽くふきましょう。

警報が鳴った時の対処方法



火災の時

- ▶ **大きな声**で知らせましょう。
避難しましょう。
119番通報しましょう。可能なら**初期消火**を。



火災ではない時

- ▶ 火災ではないのに火災警報器が鳴る場合があります。
警報停止ボタンを押すか、ひき紐を引いて警報を止めてください。



調理中の煙や湯気



ホコリや小さな虫



くん煙式殺虫剤など

電池切れの時

- ▶ **電池切れ警報**が鳴ったら**電池を新しいもの**に交換してください。
(機器ごと交換する機種は、新しい火災警報器に交換してください。)

松戸市消防局
松戸市防火協会